

コミュニティ なるお



○発行日
2025. 5. 1

○発行責任
鳴尾連合自治会

○編集
コミュニティなるお
編集委員会

TEL. 47-0101

わがまち

あひやうのひやう

終戦から今日まで、鳴尾の元戎を守った
故・森豊氏（享年95歳）とその家族

上田西町にあった元戎社が昨年11月、鳴尾八幡神社に遷されました。

今回、伝承の地で長く元戎を守ってきた、故・森豊さんとその家族を紹介します。

元戎との出会い

森さんは戦後、復員してきて、船会社に勤務していた親戚のついで、当地の上田西町で近隣の人々と漁業を行っていました。

当時の元戎社は鳴尾川の船着き場に祀られていたと思われる、地元の漁業組合が守っていました。が、鳴尾の漁業も時代とともに勢いを失い、組合の存続が難しくなりました。組合では解散後、「元戎社は西宮神社に遷してはどうか」との意見が多く出ました。

そんな中、森さんが「元戎は自分が今後も守ってきたい」と申し出たのです。話し合いの結果、森さんが元戎社を守り続けることが了承されました。



現在の船着き場

その後、船着き場にあった祠は、森さん宅の敷地内に遷されました。

元戎への想い

なぜ森さんが元戎社を引き受ける決意をしたのか…。

今となっては知る手立てもありませんが、戦後、復員してきて、鳴尾で新しい人生をスタートし、戦後の混乱期中、漁業で何とか生活の地盤を築くことができた感謝とともに、由緒ある元戎を後世に引き継ぐことを考えたと思われまふ。

一家で守り続ける

それから70有余年、今日まで森家で守り継がれてきた元戎社。平成23（2011）年に森さんが亡くなり、その後を引き継いだ妻のノブエさんも10年後に亡くなると、娘たちで、今日まで守り続けてきました。

森さん夫妻が存命中は毎朝、祠の扉を開け、榊や水（酒の代わり）を替え、地元の人たちが自由にお参りできるよう、いつも自宅の門を開けていました。また、毎年9月10日の例大祭には、西宮神社から宮司が来て祝詞を奏上し、2人の巫女が鈴を鳴らしながら祠の前で奉納の舞を舞ったそうです。

す。この時は、地元の人たちも普段にも増して多く参拝に来ていたようです。

近年は、適宜祠を整え、年の瀬には必ずしめ縄、幕を新しいものに取り換えて、新年を迎える準備を欠かしたことはありませんでした。

遷座する元戎

今日まで伝承の地・鳴尾で守られてきた元戎でしたが、このたびの土地処分にあたって家族で地元に残存する方法を話し合い、西宮神社の吉井良昭宮司に相談。鳴尾の地に保存すべきとのことで、鳴尾の浜を離れますが、鳴尾八幡神社へ遷座されたのです。



祠を遷した後、残された台座

西宮市制 100 周年記念特集

鳴尾村が西宮市と合併して74年 年表でたどる鳴尾の歩み③ 平成元(1989)年～令和7年 (平成・令和時代)

年 代
主 な で き ご と

1989	平成元	9月、鳴尾小学校校舎建て替え工事始まる(平成3年7月竣工)
1991	3	9月、 阪神高速5号湾岸線(大阪住之江神戸垂水区間)開通
1992	4	10月、鳴尾浜臨海公園内の「市民の森」完成
1993	5	9月、 学校週5日制始まる
1994	6	10月、健康運動施設「リゾ鳴尾浜」オープン
1995	7	2月、財団法人鳴尾会が「なるお会館」竣工①
1998	10	8月、浜甲子園運動公園(通称「船公園」)内に「鳴尾球場跡地顕彰碑」建立
		7月、兵庫県立甲子園浜海浜公園オープン
		10月、鳴尾浜にプロ野球「阪神タイガース」2軍の野球場・練習場・選手寮「虎風荘」開場
		1月17日、 阪神・淡路大震災発生し、鳴尾地域も甚大な被害を受ける
		5月、西宮市立鳴尾図書館開館②



①なるお会館ロビーに飾られている陶板画



②西宮市立鳴尾図書館

鳴尾の平成時代は、種々の施設のオープンが続きました。阪神間の中間にあって、交通機関の利便性が増す中、需要と供給のバランスが必ずしも一致せず、消えてゆくものもあり、変遷の著しい時代であったと振り返ることができます。

平成7年の「阪神・淡路大震災」や平成30年6月の「大阪北部地震」、同年9月の「台風21号」襲来など、自然の脅威による災害を防ぎきれない事態を経験し、防災に対する意識が高まった時代でもありました。

また、鳴尾地域の悲願でもあった南北の幹線道路を遮断していた阪神電鉄の軌道の高架化が全てが完成。踏切待ちの渋滞がなくなり、さらに生活環境の利便性が高まったといえます。



小曾根線・西開踏切

鳴尾地域は、特に少子高齢化、地価の高騰化などが急速に進み、対応を迫られる時代に突入しています。



高架になった西開踏切

3回にわたって編集してきた近代鳴尾の100年

を振り返りながら、これから先の100年でどのようなコミュニティ社会を築いていくべきかを考えてみたいと思います。

医療法人信和会 明和病院

〒663-8186 兵庫県西宮市上鳴尾町 4-31
TEL 0798-47-1767(代表)
0570-0-89470(患者さん専用)
ホームページ <https://www.meiwa-hospital.com>

親切で信頼される病院を目指します



めいわりハビリテーション病院 / 明和がんセンター / エレガノ西宮・めいわクリニック / 訪問看護センター明和 / 居宅介護支援事業所 併設

いいね! 鳴るほど ザトピックス

LINE 明和病院 始めました 公式アカウント 友だち募集中!!



●診療科目 内科 循環器内科 消化器内科 血液内科 糖尿病・内分泌内科 腫瘍内科 腎臓内科 人工透析 内科 呼吸器内科 外科 消化器外科 小児外科 乳腺・内分泌外科 呼吸器外科 ペインクリニック外科 整形外科 リハビリテーション科 皮膚科 形成外科 泌尿器科 小児科 耳鼻いんこう科 眼科 産婦人科 放射線科 麻酔科 臨床検査科 病理診断科 救急科 歯科 歯科口腔外科

年	代	主なできごと
1998	10	8月、甲子園高速フェリー(鳴尾浜〜淡路島津名間)運転休止
2000	13	11月、中学2年生の「トライやる・ウィーク」全県実施
2001	14	5月20日、「鳴尾・西宮合併50周年記念事業」実施③
2002	14	3月、甲子園競輪場廃止
2003	15	11月、甲子園浜自然環境センター開設
2004	16	12月、西宮市が環境学習都市宣言
2008	20	3月、甲子園阪神パーク73年の歴史に幕を閉じる④
2009	21	5月、浜甲子園団地(浜甲団地)建て替え工事始まる⑤
2010	22	11月、「ららぽーと甲子園」開業
2011	23	4月、西宮市が中核都市に移行
2013	25	3月、ららぽーと甲子園内に「キッズニア甲子園」開園
2017	29	3月、全国高校野球選手権大会90回、選抜大会80回記念に優勝校を掲示する「野球塔」復活
2018	30	11月、阪神甲子園駅改良工事開始(〜2017年12月)
		8月、鳴尾浜に「ひょうご西宮アイスアリーナ」開業
		3月、鳴尾連合自治会が「なるお文化ホールの日」制定
		6月、大阪北部地震発生
		8月、全国高校野球選手権大会が100回記念大会開催
		9月、台風21号襲来(昭和25年のシエン台風とほぼ同時刻、同コース、同規模の勢力で通過)
2019	31	3月、阪神本線・甲子園・武庫川間の連続立体交差事業完成⑥
2019	令和元	4月30日、平成・明仁天皇退位
2020	2	5月1日、徳仁天皇即位、「令和」始まる
2021	3	10月、阪神本線「鳴尾」駅が「鳴尾・武庫川女子大前」駅に改称
2022	6	1月、「二十歳を祝う会」を初めて阪神甲子園球場で開催⑦
2025	7	11月、健康運動施設「リゾ鳴尾浜」閉館
		7月、武庫川団地内に「赤胴車のある広場」完成⑧
		8月、阪神甲子園球場開場100周年を迎える
		4月1日、西宮市制100周年を迎える

③鳴尾・西宮合併50周年記念誌「なるお」



⑤更地状態の浜甲団地



⑦阪神甲子園球場で行われた二十歳を祝う会



④ららぽーと甲子園が建つ前の阪神パークの跡地



⑥小曾根線西開踏切・下り線が高架化



⑧赤胴車が運び込まれた武庫川団地広場

参考文献・写真:「鳴尾村誌」「鳴尾・西宮合併50周年記念誌」「なるお」

想いをかたちに 未来へつなぐ

TAKENAKA

竹中工務店

〒541-0053 大阪市中央区本町 4-1-13 tel: 06-6252-1201
 〒136-0075 東京都江東区新砂 1-1-1 tel: 03-6810-5000

国土交通大臣許可(特-1)第2744号(般-1)第2744号

広告

鳴尾東

ごみの新分別区分説明会開催

鳴尾東公民館・講堂で、市・美化企画課による、令和8年度から実施されるごみの新分別区分と収集回収の説明会が2月19日に開催されました。

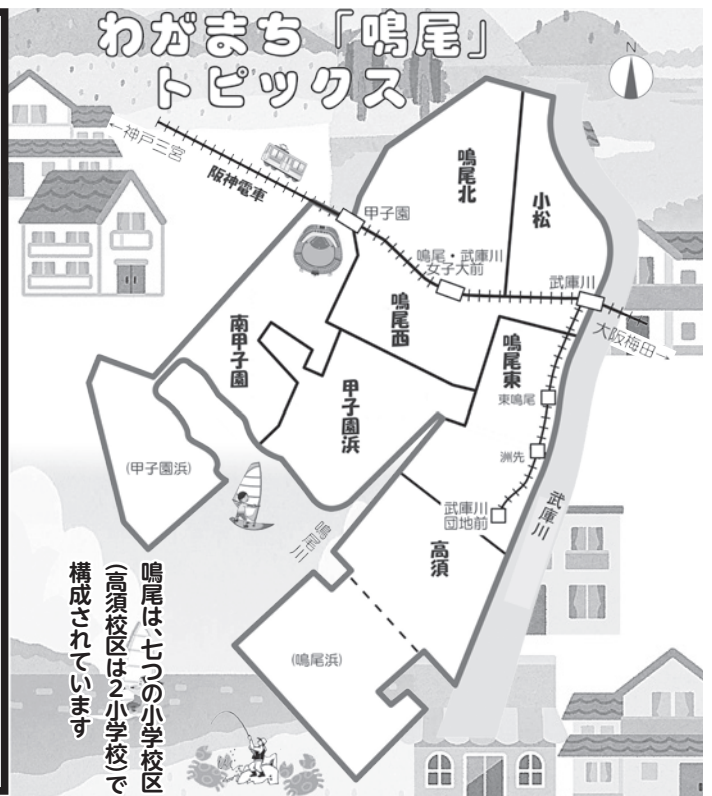
現在の分別区分・収集形態・収集回収の一覧表と新しい一覧表を併記、比較した資料を基に、新しいごみ回収に



資料を広げてフーンなるほど！

至った考え方とその目的を職員が分かりやすく説明しました。

東部処理場と西部処理場の現状と今後、回収するごみと資源の大別、ごみの処理方法、資源の区分など家庭からできるさまざまのごみを多くの角度から分析して処理されていることが理解できました。これからも新しい処理区分に協力していきましょう。



鳴尾は、七つの小学校区(高須校区は2小学校区)構成されています

高須

編集委員がつづる高須の春

春 みーつけた

2月末、陽気に誘われて春を探しに出かけました。2丁目で手入れの行き届いた花壇を眺め、高須西保育所園児の元気な声を聞き、赤胴車のある広場から「にじのはし」へ。1丁目と2丁目をつなぐ「にじのはし」の花壇も手入れが行き届き、色とりどりの春の花が咲き誇っていました。



「にじのはし」の花壇

赤胴車「メルカードむごがわ」駅の改札口を抜けて周辺

を探索。スミレの葉っぱや至る所一面に広がるヨモギを見て、春の息吹を感じることができました。高須東公園「さくらの広場」のサクラは満開時、見応えのある光景ですが、まだつぼみも固く、冬の寒さに耐えているようです。アッ！！なんと1輪のつぼみを見つけ、何度も何度も確かめました。間違いなく「ソメイヨシノのつぼみ」！！気分は春満開です。

ソメイヨシノのつぼみ



小松

「ひょうご地域安全まちづくり活動賞」受賞

小松町自治会が3月12日、「ひょうご地域まちづくり活動賞」を受賞しました。これは「特殊詐欺被害防止100日運動」に取り組んだことが評価されたものです。

小松町自治会では、自治会独自のポスターや自治会だよりで啓発を続けました。また、子どもの声は高齢者も素直に聞く耳を立てる傾向にあるとのことから、子どもたちも参加して町内パトロールを行いました。



子どもたちと一緒にパトロール

さらに、特殊詐欺防止の講演会実施や高齢者世帯に「自動通話録音機」の設置の確認と要請を行い、他にも自転車用プレートの装着など、多岐にわたる活動を行いました。樋口俊次自治会長は「この活動で自治会に対する信頼も高まった」と話していました。

年間約 **3400mwh** 発電！西宮バイオガス発電プラント運転開始

バイオマス廃棄物の有効活用 再生可能エネルギーの創出

阪神間初

都市型
バイオガス
発電



株式会社リヴァックス 〒663-8142 西宮市鳴尾浜2丁目1-16 TEL.0798-47-7626

リヴァックス バイオガス



甲子園浜

海・山・鳥・ビーチ
♪阪神間のミニホノルルマラソン♪
ワンコイン・チャリティー(あしなが育英会)

スポーツクラブ21甲子園浜主催の第17回甲子園浜マラソン大会が、2月9日、晴天の中、浜甲子園運動公園で行われました。この大会は開催当初から「記録より記憶に残る」をモットーに開催されています。

オープニングパフォーマンスは、浜甲子園中学校吹奏楽部による演奏で、大いに大会を盛り上げていました。今年はランナーが452人、ファミリージョギングが120人、そしてスタッフ160人が参加し、多くの老若男女がいい汗を流し、楽しい1日となりました。



ゴール目指して一斉にスタート



表彰式

鳴尾西

なるお昔語りの集い
～鳴尾と甲子園の昔を知っていますか?～

鳴尾中学校の地域交流室で3月2日、昨年10月に続いて2回目の集いが開催され、55人の参加がありました。

地域交流室の活用について、OB有志の永富康孝さん(45期生)が会長を引き受け、曲馬秀樹さん、豊岡延宣さん(ともに20期生)が中心となって「地域創生交流有志の会・めいゆう(鳴友)」を立ち上げ、ボランティアで活動しています。



会場の鳴尾中学校地域交流室にて

今回は、『宮つ子』鳴尾版の前田文信編集員による「鳴尾浦におけるイワシ漁について」と、鳴尾の綿の伝え人・牧野保代さんによる「なるお綿物語」の他、鳴尾のスイカ、イチゴ、ナタネ、イチジクの商品作物についての講演がありました。

南甲子園

南甲子園スポーツクラブ21に
モルッククラブ「南風」が誕生

南甲子園スポーツクラブ21主催のモルッククラブ「南風(なんふう)」の発足記念体験会が、2月24日に南甲子園小学校校庭で開催されました。

武庫川モルックマメシーバやモルッククラブの皆さん、地域の人々が参加して、寒い中、1日を通してモルック競技を楽しみました。



青空の下、モルック棒をいっぱい投げる「エイッ！」

モルック競技の発祥はフィンランド。木製の棒を投げて、12本あるピン の倒れ方で採点する軽スポーツです。老若男女、年齢に関係なく楽しめます。

問い合わせ…南甲子園スポーツクラブ 21
会長 道中義一：090-3621-8308
部長 岡 泰隆：080-6102-6560

鳴尾北

里中町「寿公園」
多機能トイレに生まれ変わりました

36年間使用し、老朽化したトイレの改築工事が昨年7月から行われ、3月3日より利用が可能となりました。

男女別のトイレに加え、多機能トイレが設置されました。入り口の段差などをなくし、車いす使用者が利用できる広さや手すりを備え、おむつ替えシートやベビーチェア、靴を脱いでの着替えや荷物置きなどに利用できるフィッティングボードも設置されました。さらに、防犯用の赤色灯も備えられました。

高齢者や子どもたち、子育て世代など、誰もが利用しやすいバリアフリートイレになりました。



景観も整いました



多機能トイレ

www.jfe-eng.co.jp

くらしの礎を「創る」「担う」「つなぐ」
Waste to Energy

JFE エンジニアリング 株式会社
JFE 横浜市鶴見区末広町二丁目1番地 〒230-8611 TEL:045-505-7876 FAX:045-505-7657

廃棄物・リサイクル・上下水と、国内で唯一、都市環境事業全体を一貫して行っているJFEエンジニアリング。製鉄事業と造船事業を通して永年培ってきた、「火」を操り、「水」を活かした技術が、豊かで安全な都市環境を創造します。



第6回 鳴尾連合自治会のつどい



鳴尾連合自治会
会長
川崎 洋光

3月15日に、なるお文化ホールで「鳴尾連合自治会のつどい」を開催しました。あいにくの雨天で寒い中、多くの人々が出席しました。入場者は478人。各地区の世話人の人々の慰労を兼ねて、楽しいひと時を過ごしました。芸自慢の演者の人々の演出に、会場は大いに盛り上がり、楽しい1日でした。

① 学文中学校の和太鼓演奏 「二打入魂」をモットーに 西宮市立学文中学校 和太鼓部の皆さん

演奏曲目は、
「黎明」^{れいめい}「太鼓囃子」^{ぼやし}
の2曲。

市内の中学校で、和太鼓部があるのは学文中学校だけです。和太鼓部の皆さんの素早い軽快なリズムで、力いっぱいバチをさばき回る姿は実に素晴らしい！
会場では力強い太鼓の連打に興奮！元気を与えていました。



心に響く和太鼓のリズムに、身も心も引き締まる



② いつ、どこで起こるかもしれない 「南海トラフ地震」に備えて



西宮市総務局防災危機管理課
担当課長 松田成弘さん

地震がまた最近増えてきて、南海トラフ地震が現実味を帯びてきました。
そのような不安の中、常にいざというときに備えて、身の回りの必需品をそろえることが必要でしょう。

巨大地震が起こったときには次のことを考えましょう。
・慌てず姿勢を低くしましょう

- ・頭を守りましょう
- ・動かないようにしましょう
- ・お心得ください。

津波警報や避難指示が出されたら次の点に気を配りながら避難をしてください。
・鳴尾御影線よりも北側へ逃げる
・津波避難ビルや鉄筋コンクリート造りの建物3階以上に避難する
・津波は何回も繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで避難を続ける
災害時は、市・ホームページ(防災ポータル)で情報が得られます。

③ 昭和歌謡ショー

楽しい！元気が出る！と
激励の言葉がありました。現在、市外・県外と活動範囲が広がり、12年間活動を続けてきました。

当日の曲目は、テーマ曲に始まり、『街の灯り』『越後獅子の唄』『好きになった人』『浪花節だよ人生は』『なんとなくなんとなく』『ろくでなし』『人生の扉』『ヘッドライト・テールライト』の9曲。
会場の皆さんと手拍子で心も弾み、実に和やかな雰囲気の中での出演でした。



昔懐かしい曲に合わせて会場の皆さんも手拍子♪

ひよこリーナ
松本雅美さん
浜登都根美さん
比嘉啓子さん

④ アカペラライブ

「MY Sky」

ボーカルユニットMY Skyの
ムーチョさん・イナミサナエさん・
YUKAさん・あらいよしひろさん
くまさん

シンガーソングライター
のムーチョさんは、甲子園町の自治会長で、地元を音楽で盛り上げようと発起！音楽のある街「甲子園」にしたいと張り切っています。

一昨年、昨年と阪神甲子園駅前広場で、「こうしえんまちなかフェス」を開催し、地元の人々を大いに楽しませました。

今回は、昨年のフェスメンバーで結成したアカペラグループ「MY Sky」と一緒に、会場をとりこにしました。



会場に流れるきれいな5人のハーモニーにうっとり

律の心に根ざし、参画と協働により地域づくりに貢献し、その功績が優れた人を表彰することにより、地域社会における実践活動の高揚を図り、美しい兵庫の実現に寄与することを目的に、平成2(1990)年に創設されました。青石さんは長年にわたり、地域情報誌『宮っ子』の編集活動ボランティアとして活躍し、地域の活性化に貢献しました。



表彰を受ける青石さん(右)

兵庫県のとり賞(知事賞)、受賞おめでとうございます！
地域活動功労者表彰式が1月31日、尼崎市アルカイックホールで行われ、南甲子園在住の青石弘さんが受賞しました。兵庫県のとり賞は、自



南甲子園 在住の青石弘さん

鳴尾地域 サークル活動めぐり ⑩

武庫川モルックマメシーバ

～明日に向かって投げよう！広がるモルックの輪～



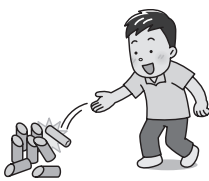
武庫川モルックマメシーバは、活動を始めて4年が経過し、1700人を超えるメンバーがいます。これは、一つのスポーツチームに所属している人数としては世界最大級ではないかともいわれています。毎週の練習時には河川敷に三々五々メンバーが集まり、楽しんでいます。河川敷を散歩している人も飛び入り参加で楽しみメンバーになった人も！

主催する甲子園リーグへの参加者も増え続け、全国から多くの人が集まります。マメシーバのメンバーも毎回、好成績を収めています。

モルックは体力のない人でも障がいのある人でもできるスポーツとして、老若男女問わず楽しめます。

南甲子園スポーツクラブ21で新規開設されたモルッククラブ、「南風^{なんふう}」もマメシーバのメンバーが立ち上げました。

どんどん広がるモルックの輪！
誰でもできるスポーツ、モルックと一緒にやってみませんか。



モルックとは

投げる棒をモルックといい、数字の書かれた棒をスキttlといいいます。モルックを投げてスキttlを倒します。倒れたスキttlが1本ならスキttlに書かれた数字を、複数倒れたら本数を足していきます。最初に50点ピッタリになったら勝ち！50点を超えてしまうと25点に減点され、ゲームは継続。スキttlは倒れた所で立てていくので広がっていきます。

頭と体を使う奥の深いスポーツです。

武庫川モルックマメシーバ 代表 内藤 平
活動日時：基本的に毎週土・日曜日、祝日(大会開催時は休) 10時～
活動場所：武庫川河川敷(旧国道西宮側武庫川橋下)
問い合わせ：内藤 平 TEL:090-6244-7606
mail:mukogawamoluky@gmail.com

Co-op コープこらべの宅配商品受取場所

めーむひろば

宅配の人気商品を決まった曜日・時間帯・場所で受け取りできる宅配サービスです。

コープ西宮東で毎週火・金曜日(13時～17時)、水・木・土曜日(13時～20時)に開催中!

※水・木・土曜日はセルフ方式となっております。

利用料 無料

お申し込み・お問い合わせは
コープこらべ 暮らしの情報センター
固定電話・0120-44-3100(無料)
公衆電話
携帯電話・IP電話
0570-09-2100(有料) もしくは 06-7636-2000(有料)
受付時間 火～土曜/8:30～19:00
日・月曜/8:30～18:00

ガイドランスに従って「1(宅配に関するお問い合わせ)」を選択ください

めーむひろば 検索

このコードからもアクセスできます



鳴尾地区5公民館の講座案内

【★は申し込みが必要。いずれも先着順。特に表記がなければ来館受け付け。材料費は受け付け時徴収】

月	日	曜日	時間	内容	講師	問い合わせ先
5	14	水	13:30~15:00	「地震のお話」 定員:100人 当日受け付け	大阪大学名誉教授 理学博士 松田 准一	鳴尾公民館 Tel.47-3838
6	8	日	14:00~15:00	「吹奏楽演奏会」 ～ファミリーコンサート IN なるお～ 定員:100人 当日受け付け	サウスウィンド吹奏楽団	
5	30	金	13:30~15:30	アコーディオン演奏による音楽鑑賞 ～思い出の音楽でくつろぎのひとときを～ 定員:60人 当日受け付け(開始20分前より)	音楽ユニット レモングラス	鳴尾東公民館 Tel.49-1300
5	16	金	13:30~15:00	文化・芸術講座 The 2nd そよ風ピアノコンサート ～いつも心に音楽を～音楽に酔いしれる時間を贈ります 定員:40人 当日受け付け	ピアノ奏者 木下 一美 アコーディオン 桑名 恵子	学文公民館 Tel.41-6050
★	5	24	土	13:30~15:30 文化・芸術講座 「写真の上手な撮り方」デジカメビギナーを卒業しましょう 定員:14人 対象:中学生以上の初級者 申し込み:5/9(金)9:30より来館または、電話にて受け付け 持ち物:デジタルカメラ(スマホ不可) ※参加者による撮影体験あり	プロ写真家 今井 博子	
6	1	日	13:30~16:00	文化・芸術講座 第10回「学文寄席」～笑って笑ってほっこりと～ 定員:80人 当日受け付け	関西大学落語大学 西宮支部	
6	20	金	13:30~15:00	防災・安全講座 第4回防災講座 わがまちの「災害後の避難所生活」 定員:60人 当日受け付け	防災士 東 徹夫	高須公民館 Tel.49-1312
5	12	月	14:00~15:30	医療・健康講座 「梅雨に向けて今から対策を!～むくみ、だるさ、対策薬膳～」 定員:50人 当日受け付け	ジン医院 漢方医 松沢 祥子	
★	6	12	木	14:00~15:30 音楽講座「世界の名曲コンサート～薫風～」 定員:100人 申し込み:往復はがき(1通につき1人のみ有効)で下記の事項を記入の上、申し込んでください 5/26(月)必着(応募多数の場合は抽選) 往信欄 宛先 〒663-8141 西宮市高須町2-1-35 高須公民館 新井俊稀 音楽講座係 裏面 講座参加者の住所、氏名、連絡先電話番号 返信欄 宛先 講座参加者の住所、氏名 裏面 白紙	声楽家 新井 俊稀	
6	25	水	14:00~15:30	音楽講座「介護予防は歌声から」 定員:80人 当日受け付け	歌声喫茶 あかとんぼ 米村 博美	

【地域医療講座】講師：明和病院医師（明和病院の協力を得て開催している講座です）

5	21	水	14:00~15:30	認知症の話 定員:50人 当日受け付け	明和病院 中島 淳美 有賀 保博	南甲子園公民館 Tel.49-4741
6	30	月	14:00~15:30	地域医療講座 「難聴の話」 定員:60人 当日受け付け	明和病院 耳鼻咽喉科 部長 奥中 美恵子	鳴尾公民館 Tel.47-3838

●なるお会館からのお知らせ●

「なるお寄席」

六代目笑福亭松喬一門落語会

開催日：6月14日(土)

日時：14時開演

(13時半開場)

会場：なるお会館3階集会室

申込：5月1日(木)

20日(火)必着

定員：100人(入場無料)

申し込み方法：

往復はがきに住所、氏名、電話番号、人数(2人まで)を記入の上(記入もれは無効)、


〒663-8184

西宮市鳴尾町3丁目8-7

なるお会館まで。

申込期間外のはがきは無効。応募多数の場合は抽選の上、当落をお知らせします

宮つ子3・4月号で案内した内容と同じです。



問い合わせ：なるお会館

☎0798-468200

祝日を除く火・金曜日9～16時

主催：公益財団法人鳴尾会



医療法人社団 秀皓会

ふなもとクリニック

〒663-8165

西宮市甲子園浦風町7-13

TEL 0798-81-1192 FAX 0798-81-0092